

## 真の国際人・Familyへ”～FAWAに込められた想い

アジア太平洋の女性の相互理解と連携を深め、女性のエンパワーメントを高めることを目的とするFAWA(アジア太平洋女性連盟)の20回目となる国際会議がグアムで開催され、私は一冊の会ヤング代表として参画させて頂く好機に恵まれました。

4日間に渡る今回の会合では、私は「真の国際人」とは何かとずっと考えていました。2010年の初参加だった台湾FAWAでは、言語力・表現力が乏しく『伝えたい』と思ったことを伝えることが出来ず、そのもどかしさは忘れることのない後悔となりました。”FAWA Sisters”(FAWAに参画している世界中のメンバーのことです)ともっとお互い”真のFamily”の存在にになって深くを話をしたい、と強く思い私は台湾から帰国後、言語力と同時に国際力をつける為、時事英語と中国語のクラスに通いました。更にFAWAの意義に立ち返った私は、一冊の会最高顧問であり均等法生みの親である赤松先生の男女雇用機会均等法に大変興味を持ち、今年の男女共同参画全国会議にも一冊の会大槻会長・小山専務にお願いし参加させて頂きました。日本での女性の現在の雇用状況や、役職に就く女性の割合が少ないこと、日本の経済のみならず震災等で受けた心の再興には女性の能力が欠かせないことをその会議で強く感じました。台湾FAWA国際会議に参加してからの2年間は一冊の会の行事の企画・運営や先輩方との交流により本当に多くのことを学ばせて頂きました。

FAWAでのメインイベントは様々な国の女性が集まり意見を交換し一緒に将来のビジョンを築いていくWorkshop(分科会)です。私は「Women in the Modern World(現代社会における女性)」に参画しました。しかも大槻会長はじめとする一冊の会の先輩方のご好意により、なんとCo-Chair(副議長)という大役に就くこととなりました。国際会議の分科会で副議長を務めるという不安をぬぐう為に、グアムに出発する前は一冊の会の活動を英語で纏めたり、男女共同参画について調べたり、議題の一つであるHuman TraffickingやCEDAWにつき調べました。



当日は同じ分科会に大槻会長も参加して下さり、9カ国の女性と地域諸島の代表等が集まり、グアム人のChristian議長の進行の下、分科会は始まりました。当分科会は現代社会における女性の人身売買・レイプ・DV等取り上げ女性を守る為何をしていくべきかを話し合いました。パネリストとしてグアムで有名な女性裁判官や女性弁護士も同席しています。分科会出席の半分以上を占めたグアム人が法律や制度の問題点等をパネリストへと投げかける場面が目立ち、

パネリストと参加者との問答が増えてくる内に、「FAWA としての在り方・FAWA を創設しようと発案した一冊の会永久最高顧問相馬雪香先生の想いとヤングの私を国際会議の副議長に推薦する為に骨を折って下さった大槻会長の想い」を私は考えました。パネリストの先生方は確かに素晴らしいが、これでは学会であって、「FAWA」の会合ではない、相馬先生の思いを私は皆へ繋げていきたい、そう強く思った私は議長へ休憩時間を設けてもらい、議長に自分の意見を強く述べました。もちろん英語です。言語力はなくとも「思い」は伝わる、そう思いました。最初議長はパネリストへの問答が行き交い傍から見れば「活動的・積極的」な Workshop なのに何が問題か、と言いました。しかし私は「FAWA とはアジア太平洋の女性(=FAWA Sisters)が集まり、お互いの意見を言い合いお互い考えて一緒に将来のビジョンを築くという集まりなのです。パネリストへの質問ではなく、私たち FAWA Sisters で話しましょう。一緒にみんなで意見を言い合い女性のエンパワーメントで新しい世界を築きましょう」と強く彼女へ訴えました。彼女は最終的に理解を示してくれ、休憩後私に参加者の前で話す時間をくれました。マイク片手に会場にいる多国籍にわたる参加者は先輩が多数を占め、しかも大きな役職に就かれている方々です。一瞬足が竦みましたが、相馬先生・大槻会長・一冊の会の先輩方の「世界みんな Family よ。皆で助け合って寄り添いあって女性の真の能力を発揮させ新しい世界を築いていく」という強い思いが私を後押しして下さいました。その御陰で参加者へ FAWA の意味を伝えることが出来、皆の理解を得て、Workshop 後半では一冊の会日本代表の発言で、No DV に対する活動や、東北の被災地で電気の供給がない時犯罪が多発し一冊の会では女性を護る為に率先して「護身術」の Workshop を開催したこと、更に被災地に光を与えたいと、9月3日に除幕式をした福島相馬市に立てた永久に消えることのない蓄電池＝「雪香灯」の話等、世界に一冊の会の活動を伝えることが出来たこと本当に嬉しく思いました。分科会後は、議長やパネリストから日本の一冊の会の活動を評価しているとお言葉を頂くことが出来、更に FAWA としての報告書にも一冊の会の『持続可能な活動』はひと際大きく取り上げてもらうことが出来ました。本当に嬉しいことで御座います。

分科会で私が途中で休憩を入れてなかったら、自分の意見を述べてなかったら、きっと一冊の会の活動や他の国の活動を伺うことはなかったと思うと、本当に日本のヤング代表として副議長を務めることに責任感・使命感を感じ、あの時自ら FAWA に『参画』出来てよかったと心から思っています。自らの成長に本人も驚いています。

私が辿り着いた「真の国際人」の在り方とは言語力はもちろんですが発信力・表現力・相互理解力があり何よりも「Family」として他国の人々と付き合っていける人です。他人を思いやり慈しむそれは女性の持つ素晴らしい能力の一つであり、私は女性としての能力を発揮した「真の国際人」になりたいと心から思っています。50周年を迎える一冊の会での活動を新たな気持ちで今後取り組み、2014年韓国での FAWA の会合では、FAWA Sisters とお互いの社会のビジョンを話し合い、発信し合い、一緒に女性の能力が発揮される世界を築いていこうと誓い合いたいと思います。

日本と世界を愛する真の国際人に私はなります。

—————感謝—————

グローリア部 村岡 清佳